



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2012年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コヒーアワ : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫■

「キャンディーズ」

今回は『文芸春秋』(五月号)の「一周忌・妻、田中好子に余命を告知した日」からの引用で、筆者は夫の小達一雄氏。昨年四月二十一日に彼の妻、田中好子さんが五十五歳で乳がんのため死去して以来の思いを綴ったものである。四月二十一日は節子の誕生日だ。妻の思いでと重なり思わず落涙してしまった。

「通夜、告別式にはキャンディーズ時代からの友人で伊藤欄さん、藤村美樹さんをはじめ各界の友人・・・が出向いてくれました。そして告別式が終わると『一人になってしまった』という悲しみが一気に押し寄せてきたのです。ショックは想像以上でした。ずーっと一人、自宅に引きこもり、飯も食わずに酒ばかりあり、ただ泣くばかりの毎日、かつて好子が私に置き手紙してくれた食卓。好子がカレーたっぷり作ってくれたキッチン。好子と並んで散歩に出かけた玄關。何も考えずとも涙があふれ出すのです。周囲には『俺は百ヶ日が過ぎるまでとはにかく泣いている』と言い、『ああ、このまま俺も好子のところへ逝っちゃうんだな』と本気で思っていました。そんなある日、妻の遺志を叶えるのは、夫である自分しかない。そう、やっと思いつくことができたのです。

告知で『なあ、好子。実は残念だけど、この状態ではもしかしたらゴールデンウィークも乗り越えられないかもしれない』と言った時、好子も私も、もう泣き崩れてしまいました。しかし、泣きながら好子は私を慰めるかのように、『かずさん、私は役の上で何度も死んできました。だからかずさんが今言っていること、私なんだか信じられないしピンとこないんだ』と語りかけるのです。そして気丈にもこう続けたんです。『でもかずさん、あなた大丈夫？ 平気なの？ ごめんねえ。私のためにこんなこと、言わせてしまつて。俺のことなんか気遣うなよ。何で私だけがと、取り乱したつておかしくない状況なのに、あいつは、いつだって自分より他人のことばかり心配して・・・好子から託された遺志、社会への恩返しを実現していかなければなりません。一人では何もできない、と泣いては好子に怒られてしまいます。『かずさん、よくやってくれたね』と言う、好子の喜んでくれる顔を心の支えに前に進まねばなりません』。

パウロは「ただこの一事・・・神の賞与を得ようと努めている」(ピリピ3・13 & 14)と記す。彼の心の支えはただ主イエスに喜んでもらうことだった。小達氏も妻に喜んでもらうことだった。私たちも主に喜んでもらうことを心の支えに、愚直に日々主を賛美し、主を愛し、主に従つてゆこうではないか。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は一九七七年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は一九二一年に創立され、現在は日英両語合わせますと二千名を越える会員になります。

私たちの教会は一八世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、三世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白といたします。

